

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和6年度三池港内埋没低減方策検討業務
業 務 概 要	本業務は、三池港（内港北地区）の航路（-10m）における、埋没要因の把握のための流動調査と底質調査を行うとともに、埋没現象について既往調査埋没予測モデル並びに漂砂及び浮泥の発達・輸送のメカニズムを把握し、更なる埋没予測シミュレーションの精度向上を行い、実現性のある埋没対策の検討を行うものである。
契約担当官の氏名並びに所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局博多港湾・空港整備事務所長 苔口 聖史 福岡市中央区大手門2-5-33
契 約 年 月 日	令 和 6 年 8 月 7 日
契 約 業 者 名	令和6年度三池港内埋没低減方策検討業務 沿岸技術研究センター・いであ設計共同体
契約業者の住所	東京都港区西新橋1-14-2（一般財団法人沿岸技術研究センター）
契 約 金 額	30,800,000 円（税込み）
予 定 価 格	30,888,000 円（税込み）
随意契約によることとした理由	本業務は、三池港の埋没現象のメカニズムの把握と、効果と実現性のある埋没対策の検討を行うものであり、埋没現象に対する様々な知見を有しており、さらに現地条件や調査を踏まえて多角的に対策検討が出来る、高度な技術力と豊富な経験が不可欠である。 以上のことから、プロポーザル形式により契約内容並びに契約手続きを公示し、参加表明者においては、配置予定技術者の経験・能力（技術者資格等、業務執行技術力）、発注者の要請に対する的確性・実現性に関する本業務の実施体制及び本業務に関する特定テーマに対する技術提案書の提出を求めることで、専門技術力の確認、本業務の遂行能力等を評価したものである。 建設コンサルタント等の特定手続きに基づく審査の結果、令和6年度三池港内埋没低減方策検討業務沿岸技術研究センター・いであ設計共同体が最適であると判断されることから、上記設計共同体と会計法第29条の3第4項に基づき随意契約を行い、円滑な遂行を図るものとする。
業 務 場 所	—
業 務 区 分	建設コンサルタント等
履 行 期 間 （ 自 ）	令 和 6 年 8 月 7 日
履 行 期 間 （ 至 ）	令 和 7 年 2 月 28 日
備 考	